

【4/18(木)～24(水)】13歳でデビュー！天才漫画家の38年にわたる筆脈 『19<NINETEEN>』『B.Bフィッシュ』『C』『ホットマン』など きたがわ翔、初の原画展「アナログ」を開催

株式会社クリーク・アンド・リバー社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井川幸広)が協力する、漫画家・きたがわ翔さんの初となる原画展「アナログ」が、4月18日(木)から24日(水)まで、東京・吉祥寺のリベスタギャラリー創で開催されます。なお、4月21日(日)には、同じく漫画家の上條淳士さんをゲストに招いたトークショーの開催も決定しております。

きたがわ翔さんは、1981年、わずか13歳の時に「番長くんはごきげんななめ」(『別冊マーガレット』)でデビューした漫画家です。1988年から週刊ヤングジャンプで連載された『19<NINETEEN>』が大ヒット。男性向けコミックながらも繊細なタッチとさわやかなストーリーで、当時、若者たちから絶大な支持を得て、1990年にはOVA化もされました。また、家族の絆を描いた『ホットマン』(集英社)は、TBSで2度ドラマ化された話題作です。ほかにも、『B.B.フィッシュ』や『C』、『刑事が一匹…』(講談社)、『デス・スウィーパー』(角川書店)など、卓越した画力と幅広く多彩な作風でも知られています。

きたがわ翔さんにとって初となる原画展「アナログ」では、過去作品の原画やイラストのほか、原画展のために描かれたアート作品なども展示。会場では原画や複製原画、オリジナルTシャツなどのグッズも販売されることが決定しております。また、トークショーでは、きたがわ翔さんとともに、ゲストとして「週刊少年サンデー」(1985年～1987年連載)で人気を博した漫画『TO-Y』の作者・上條淳士さんが登壇し、「アナログ」の展示作品やこれまでの漫画作品、それらの制作秘話などについて語っていただきます。なお、ギャラリーへの入場料は無料。きたがわ翔さんの画力とテクニック、そして想いが詰まった作品を生で見られるのは「アナログ」だけ！ファンの方々のみならず、漫画家を目指す方にもおすすめの展覧会です。ぜひ、ご参加ください。

きたがわ翔 初原画展 アナログ 概要

■日時

2019年4月18日(木)～4月24日(水) 12:00～18:00

*最終日は17:00まで

■場所

リベスタギャラリー創

住所:東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-19

地図:<http://www.libestgallery.jp/map.html>

■入場料

無料

■協力

株式会社クリーク・アンド・リバー社

◀きたがわ翔×上條淳士 トークショー▶

■日時

2019年4月21日(日) 19:00～20:00 (開場18:30～)

■登壇者

- ・きたがわ翔さん
- ・上條淳士さん(ゲスト)

■参加費

・無料(抽選制) *当日12:00～17:00に抽選入場整理券を配布します



きたがわ翔
初原画展
アナログ

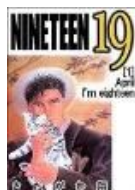
作者・きたがわ翔 プロフィール



©Sho Kitagawa

きたがわ翔は1981年にデビューした漫画家。男性、O型。1981年中学2年のとき、第159回『別冊マーガレット』(集英社)まんがスクールへの応募で「番長くんはごきげんななめ」が佳作受賞。同年「番長くんはごきげんななめ」(『別冊マーガレット』)でデビュー。1986年『ヤングジャンプ』に「TEENSしようか」を隔週連載、青年誌の活動の場を移す。1988年から同誌で連載した「19<NINETEEN>」は主人公と作者の実年齢がほぼ等しく、10代終わりの微かな心理をリアルに描き、読者の支持を得、オリジナルビデオアニメ化もされる。また、画力に支えられた卓抜したトーンワークも特徴。1990年からは『ヤングジャンプ』で水泳が題材の「B.B.フィッシュ」を連載した。家族の絆を描いた『ホットマン』(集英社)は、TBSで2度テレビドラマ化される(2003年、2004年)。また、『C』(集英社)、『刑事が一匹…』(講談社)、『デス・スウィーパー』(角川書店)、『ソウルメッセンジャー』[原作:藤沢とおる](集英社)、『アントルメティエ』[原作:早川光](集英社)など幅広く多彩な作風を持っている。2019年現在、漫画家歴38年を超えて、今も精力的に執筆活動を行っている。
公式Twitter:https://twitter.com/kitagawa_sho

きたがわ翔さん コミック作品（抜粋）



『19 <NINETEEN>』 <http://amzn.to/2BIMXQu>

1988年から1990年にかけて週刊ヤングジャンプ（集英社）で連載された『19<NINETEEN>』。代官山学院大学1年生でラグビー部に所属する主人公・久保田一至の恋愛を描いた青春ストーリーです。ある日、中学時代のクラス会で憧れのマドンナ・藤崎雅菜と再会を果たします。彼女いない歴18年の一至の恋の行方はどうなるのか。恋愛を通して人間的成長を描いた『19<NINETEEN>』は、男性向けコミックながらも繊細なタッチとさわやかなストーリーで絶大な支持を得て、1990年にはOVA化もされた大人気作品です。



『19 FOREVER Prologue』 <http://amzn.to/2BpFT5g>

『19 FOREVER Prologue』は、2010年12月にオー・スーパー・ジャンプ（集英社）に1話限り掲載された『19<NINETEEN>』の続編。45歳を迎えた主人公・久保田一至は、父の介護をしながらサラリーマンとして働く毎日。働く会社は吸収合併されることが決まり、人生に虚しさばかりを感じて日々を過ごしています。そんな折、19歳の頃に働いていた喫茶店「do」にそっくりのお店を見つけます。中から出てきたのは、25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物。この人物は一体…？単行本にも未収録の幻の1話。現在、電子書籍版が配信されています。



『19 FOREVER』 <https://amzn.to/2H1zR1M>

『19 FOREVER』は、「CF限定永久保存版！きたがわ翔『19 FOREVER』制作プロジェクト」達成により制作された『19 FOREVER Prologue』の続編。25年前に亡くなったはずの「do」の店長にそっくりの人物との出会いが、主人公・久保田一至が会社員としての人生を変えるきっかけに。49歳を迎えた主人公・久保田一至は一体、どのような人生を選択したのか。きたがわ翔さんの『19<NINETEEN>』への愛、キャラクターたちへの愛、そしてファンたちへの愛に溢れた作品です。ファン必見の感動作！



『B.B.フィッシュ』 <https://amzn.to/2NH5Wwd>

1990年末から約3年にわたり、週刊ヤングジャンプ（集英社）に連載された青春ラブストーリー。幼い頃、毎日のように海へ出かけた葉山潮（主人公）にとって海は母親の体温のようなものだった。ある日、海辺で金髪の少女、神無月沙羅と出会った潮は、風で飛ばされた彼女の帽子が海に流され、その帽子を魔法使いのような速さで追いかける。8年後、高校生になった潮だが、いつの間にか水恐怖症になり、泳ぐことに恐怖を感じていた。そして潮は沙羅と再会し…。



『C』 <https://amzn.to/2GYscRI>

“C（シー）”はコンプレックスのC。この作品はコンプレックスを抱える人たちへのメッセージ。「男性失格」、「マゼンタ・ハーレム」、「モンロー・ジョーク」、「ほんとうに行方」… “C”は、これら4つの異なるストーリーからなるオムニバス作品です。コンプレックス（劣等感）に悩む現代社会の人間模様を蒼く、美しく、そして優しく抱きしめるように描かれた特別なコミックス。



『HOTMAN』 <https://amzn.to/2TuSWPQ>

1997年から2000年にかけて、週刊ヤングジャンプ（集英社）に連載された、家族の絆と成長を描いた作品。元不良で高校の美術教師をしている“ホットマン”こと降矢円造。彼の目標は、この世から一切の食品添加物を抹殺する事。アトピーに苦しむ娘・七海や愛する家族の為、ヘルシーバカな毎日。だが、過剰ともいえるそのこだわりの理由は…？2003年、2004年と2回にわたり、TBSでドラマ化。反町隆史さんや矢田亜希子さん、小西真奈美さん、市川由衣さんなど、豪華俳優陣が出演し、人気を博しました。

■株式会社クリーク・アンド・リバー社 会社概要

本社：東京都港区新橋四丁目1番1号 新虎通りCORE

設立：1990年3月

代表者：代表取締役社長 井川幸広

ネットワーク：東京・大阪・札幌・仙台・高崎・大宮・船橋・横浜・名古屋・京都・神戸・高松・広島・福岡・熊本・那覇
／ソウル・上海・北京・ロサンゼルス

事業内容：クリエイティブ・建築・ファッション・食・研究のプロフェッショナルに特化したエージェント、プロデュース、アウトソーシング、著作権及びコンテンツの管理・流通。グループには、医療・IT・法曹・会計分野がある。

URL：<https://www.cri.co.jp> | <https://www.creativevillage.ne.jp/> (CREATIVE VILLAGE)

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社クリーク・アンド・リバー社 経営企画部 creek@hq.cri.co.jp

TEL:03-4550-0008 FAX:03-4550-0018 URL:<https://www.cri.co.jp>